

仕様伺書

対象形式：KS2TR2

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形式		JOB No.		承認	作成
貴社名		機番			
お名前		営業担当			
注番					

各設定項目に対して標準設定値から変更がある場合、設定可能範囲でご指定下さい。
標準設定値とは、一切のご指定がない時の値です。

製造部門	
確認	設定
機番	

■設定項目

パラメータ ブロック	名称	設定単位	設定可能範囲	機能の概要説明	標準 設定値	ご指定 出荷時設定値	弊社記入欄
1	ST1	工業値 *1	-5 ~ +105% FS	SET1 警報値の設定	1200		<input type="checkbox"/> 確認済
	ST2	工業値 *1	-5 ~ +105% FS	SET2 警報値の設定	0		<input type="checkbox"/> 確認済
2	HYS1	偏差工業値 *1	0 ~ 102% FS	SET1 ヒステリシス幅の設定	1		<input type="checkbox"/> 確認済
	HYS2	偏差工業値 *1	0 ~ 102% FS	SET2 ヒステリシス幅の設定	1		<input type="checkbox"/> 確認済
	P-n2	単位なし	0 ~ 8、12 ~ 14	入力種類の設定 表 1 入力種類コード表を参照して下さい。	3		<input type="checkbox"/> 確認済
	P-SL	工業値 *1	-1999 ~ 9999	スケーリングの下限設定 表 2 入力レンジ表を参照して下さい。	0		<input type="checkbox"/> 確認済
	P-SU	工業値 *1	-1999 ~ 9999	スケーリングの上限設定 表 2 入力レンジ表を参照して下さい。	1200		<input type="checkbox"/> 確認済
	P-dp	単位なし	0 ~ 1 *3	スケーリングの小数点位置	0		<input type="checkbox"/> 確認済
	P-A1	単位なし	0 ~ 8	SET1 警報モードの設定 表 3 警報モードコード表を参照して下さい。	1		<input type="checkbox"/> 確認済
	P-A2	単位なし	0 ~ 8	SET2 警報モードの設定 表 3 警報モードコード表を参照して下さい。	2		<input type="checkbox"/> 確認済
	bUrn	H/L	H/L/norm	バーンアウト時入力を下限、上限に振り切る。またはなしに設定。	H		<input type="checkbox"/> 確認済
	P-d1	秒	1 ~ 999	SET1 動作ディレイ時間	1		<input type="checkbox"/> 確認済
P-d2	秒	1 ~ 999	SET2 動作ディレイ時間	1		<input type="checkbox"/> 確認済	
3	P-df	秒	5.0 ~ 900.0 *2	入力フィルタ時定数	5.0		<input type="checkbox"/> 確認済
	CJM	ON/OFF	ON/OFF	冷接点補償の切換有無	ON		<input type="checkbox"/> 確認済
	P-d0	秒	0 ~ 20 秒	電源 ON ディレイ時間	0		<input type="checkbox"/> 確認済

* 1 設定単位が“工業値”または“偏差工業値”のパラメータはP-SL、P-SUの変更に伴い値が変化します。

* 2 本パラメータは5.0（秒）以上に設定してご使用下さい。

* 3 0が小数点なし、1が小数点以下1桁。

表1 入力種類コード表

信号名	種類	パラメータのコード (P-n2)
測温抵抗体	JPt 100 (JIS '89)	0
	Pt 100 (JIS '97、IEC)	1
熱電対	J(IC)	2
	K(CA)	3
	R	4
	B(RH)	5
	S	6
	T(CC)	7
	E(CRC)	8
	N	12
	P(Platinel II)	13
	C(WRe 5-26)	14

表2 入力レンジ表

信号名	種類	測定範囲 (°C)	小数点付 (°C)
測温抵抗体 Pt 100 (JIS '97、IEC)	Pt 100	0 ~ 150	○
	Pt 100	0 ~ 300	○
	Pt 100	0 ~ 500	○
	Pt 100	0 ~ 600	○
	Pt 100	-50 ~ 100	○
	Pt 100	-100 ~ 200	○
	Pt 100	-150 ~ 600	○
	Pt 100	-150 ~ 850	×
測温抵抗体 JPt 100 (JIS '89)	JPt 100	0 ~ 150	○
	JPt 100	0 ~ 300	○
	JPt 100	0 ~ 500	○
	JPt 100	0 ~ 600	○
	JPt 100	-50 ~ 100	○
	JPt 100	-100 ~ 200	○
	JPt 100	-150 ~ 600	○
熱電対	J(IC)	0 ~ 400	○
	J(IC)	0 ~ 800	○
	K(CA)	0 ~ 400	○
	K(CA)	0 ~ 800	○
	K(CA)	0 ~ 1200	×
	R	0 ~ 1600	×
	B(RH)	0 ~ 1800	×
	S	0 ~ 1600	×
	T(CC)	-199 ~ 200	○
	T(CC)	-150 ~ 400	○
	E(CRC)	0 ~ 800	○
	E(CRC)	-199 ~ 800	○
	N	0 ~ 1300	×
	P(Platinel II)	0 ~ 1300	×
C(WRe 5-26)	0 ~ 2300	×	

表3 警報モードコード表

パラメータのコード (P-A1) (P-A2)	警報の種類			
	警報の方向	設定値	ホールド*1	警報時のリレーおよびLEDの動作
0	警報なし	—	—	—
1	上限	絶対値	なし	LED点灯、リレー励磁
2	下限	絶対値	なし	LED点灯、リレー励磁
3	上限	絶対値	付き	LED点灯、リレー励磁
4	下限	絶対値	付き	LED点灯、リレー励磁
5	上限	絶対値	なし	LED点灯、リレー非励磁
6	下限	絶対値	なし	LED点灯、リレー非励磁
7	上限	絶対値	付き	LED点灯、リレー非励磁
8	下限	絶対値	付き	LED点灯、リレー非励磁

*1 炉の温度の下限警報機(100°C)として運転を開始すると、運転の開始直後は異常ではありませんが警報が出ます。
(下限)ホールド機能は、一度この下限警報を超えてから下がった場合に、下限警報を出す機能です。